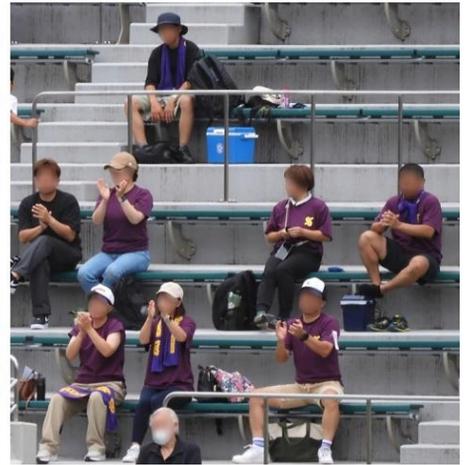


野球部、初戦は勝利！

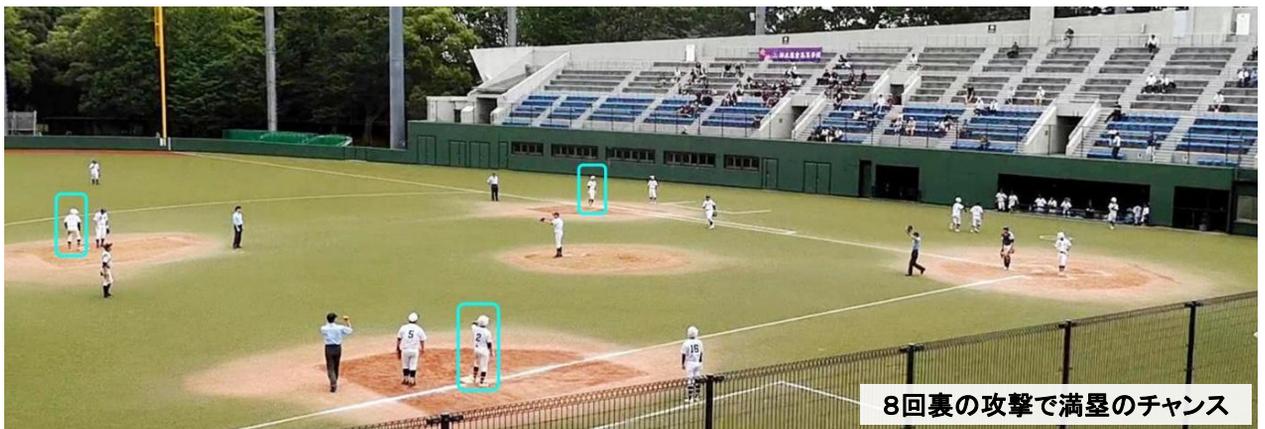
夏の甲子園に向けた全国高校野球選手権大会の東京大会(全139校参加)の初戦で、母校は7月11日(木)に駒沢球場で連合チーム(青井高、足立東高、葛飾総合高、南葛飾高の混成チーム)と戦いました。試合は初回から連合チームに得点を許し、少々嫌な雰囲気が始まりました。その後、連合チームには2回表に1点、3回表にも2点を取られ、3回裏の4点を追う母校の攻撃では1点を取り返しました。続く4回～6回では、連合チームの得点を許さず、母校は4回裏に2点、5回裏には何と5点を奪取して逆転しました。



鷺高の観戦席



6回～8回表までは両者とも無得点でしたが、8回裏の母校の攻撃では満塁のチャンスを活かして3点を取り、その時点で11点となったため、連合チームと7点以上の差となったことでコールド勝ち(Called Game)となりました。途中、負傷による連合チームのピッチャー交代の場面もありましたが、両者とも高校生らしく試合を楽しんでいました。母校の観戦席(一塁側)には、紫のTシャツを着た保護者やOBと思われる方々が熱いエールを送っていました。母校の2回戦は、7月16日(火)に大田スタジアムで行われ、対戦相手は初戦で桜修館高に勝った成城高です。



8回裏の攻撃で満塁のチャンス

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R	H	E	B	S	O	H	E
連合	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	4	11	5					
鷺宮	0	0	1	2	5	0	0	3			11	15	0					

1	2	3	4	5	6	7	8	9	km/h
TN	8	3	2	4	5	1	6	7	9
連杉	進	小柴	坂村	石保	金				

UMPIRES	1	2	3	4	5	6	7	8	9
PL	1B	2B	3B						
松外	瀧	菊							

1	2	3	4	5	6	7	8	9
TN	3	4	5	9	7	2	1	6
鷺戸	吉	岡	福	小	今	内	河	平

合本	藤林	原本	上橋	坂子	崎山	口地	宮辺	添部	澤原	井藤	西井



8回裏の攻撃前の選手達

2回戦は、大田スタジアムで午後2時から開始され、1回表の成城高の攻撃で早々に1点を取られてしまいました。その後、2回裏(母校の攻撃)～6回表までは両者とも得点無く試合が進みましたが、6回裏の母校の攻撃で2点を取って逆転しました。途中、何回か得点のチャンスはありましたが、特に6回裏の攻撃では、2アウトながら満塁にした後のバッターの打球がピッチャー横をすり抜け、その球を相手方が捕球ミスして2点を奪取しました。さらにその後のバッターは走者を2塁と3塁に置いた状態でフォアボールとなり、再び満塁としました。次のバッターも3ボール2ストライクまで粘りましたが、惜しくも3アウトになり、6回裏の攻撃が終わりました。ところが、次の7回表の成城高の攻撃で2点を取り返されて、鷺高2:成城高3となり、再び1点を追う戦いになりました。

ここで、降ったり止んだりしていた小雨が本降りになり、7回裏(母校攻撃)の開始前に試合は中断されて翌日の継続試合になりました。

7月16日(火) 第106回全国高校野球選手権大会 東東京大会 継続試合

大田スタジアム		1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
プレイボール 14:05	成城	1	0	0	0	0	0	2			3
ゲームセット 16:06	鷺宮	0	0	0	0	0	2				2

7月17日の継続試合は、大田スタジアムでの4試合目で当初は午後4時30分からの開始となっていました。しかし前の3試合目までの試合時間が長引いた為、ナイター照明が灯された午後6時50分頃に試合が開始されました。7回裏～8回裏まで両者とも得点がありませんでしたが、9回表の成城高の攻撃では2塁、1塁での併殺(ダブルプレー)を取るも、その後のヒットで1点を取られました。1点を追う9回裏の母校の攻撃では、2アウト、走者1塁の状況で2ストライクに追い込まれたバッターが3回のファールフライで粘りましたが、最後はセンターフライを取られて3アウトになり、試合終了となりました。

今年は惜しかった場面もありましたが、母校の選手達は攻守とも十二分に健闘していました。来年も頑張ってもらいたいと思います。

7月17日(水) 第106回全国高校野球選手権大会 東東京大会 試合終了

大田スタジアム		1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
プレイボール 18:53	成城	1	0	0	0	0	0	2	0	1	4
ゲームセット 19:27	鷺宮	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2

7月11日 駒沢球場の鷺高応援席

